

大野 岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年9月1日発行 文責 校長 中尾 聡彦

第2学期始業式「夢の舞台『甲子園』で感じたこと」

長い夏休みが終わり、8月26日(月)から2学期がスタートしました。

今年の夏休みを振り返ってみると、何と言っても「猛暑」という言葉が随所で聞かれました。

一方、様々なスポーツイベントがあり、中でも「オリンピック」や「夏の高校野球」に心を奪われた方も多かったのではないのでしょうか。

わたしもその一人で、特に「夏の高校野球」に南波多郷学館卒業の畑元大雅君が有田工業高等学校のキャッチャーとして出場したことは大変嬉しいことでした。しかも、開幕第一試合目の後攻で、始球式では怪物と称された江川卓さんの投げた球を受けるという何とも言えない巡りあわせがありました。

本校卒業生の甲子園出場は、後輩たちに夢や希望を与えてくれたと思います。

本校では「夢・志をもつ児童生徒の育成」を学校教育目標に掲げています。

ぜひ、この機会に先輩から後輩に直接メッセージを語ってほしいと思い、始業式でその場面を設定しました。弟がインタビューをする形式で進めました。以下は、そのやり取りです。



1 「夢の舞台である甲子園」でプレーして感じたこと

夢の舞台に立った感想は、緊張もあったが楽しかった。

スタンドの応援はこれまで経験したことがないくらい大きく、感動した。

2 始球式で大投手江川卓さんの球を受けた感想と交わした言葉

開幕第一試合目の後攻で、始球式を経験できたことはとても幸運だったと思う。

ワンバウンドだったので驚いたが感動した。

「ありがとうございました！」と言ったら、「がんばって！」と言って下さった。

握手をすると、手がムチュムチしていた。

3 甲子園出場という夢を叶える難しさと実現したときの喜び

甲子園出場を夢見て有田工業高等学校に入学した。春の大会では叶わなかったので、チームを作り直し、夏の大会へと一戦一戦を大事にしながら戦った。

その結果、甲子園出場が決まった。

多くの人から応援されていることに気付いたときは嬉しかった。

4 母校の後輩へのメッセージ

自分の夢に向かって、最後まであきらめずにがんばってほしい。

自分は3年生が引退した後、キャプテンとして一からチームを作っていきたい。

みなさんも夢を実現するために努力する気持ちを大切にしたい。

夢を叶えた畑元君にしか語れない貴重な話を聞くことができました。ありがとうございました。

第2回学校運営協議会より

8月27日(火)に「第2回学校運営協議会」が行われました。

この「学校運営協議会」というのは、地域や育友会の代表者と学校が、教育方針や活動、児童生徒をめぐる環境などを議論することを通して、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくものです。

今回は、児童生徒会が直接委員の皆さんに活動の様子を報告し、ご意見をいただきました。

児童生徒会からは、桜の植え替えが済んだ登校坂を「愛郷坂」と命名したことや、昼休みには「愛郷放送」と題して、リクエスト曲を流したりしていること、児童生徒会主催でダンスやお笑いなどの特技を披露する「愛郷フェス」を開催すること、そして「文化発表会」については文化委員会が中心となって運営していくことなどが報告されました。委員の皆様からは、「軽音楽部で、愛郷坂の歌を作ってみては…。」「愛郷放送ではどんな曲を流しているのか?」「愛郷フェスはとてもいい企画だと思うが、オーディションをするのか?」等々、多くの質問やご意見をいただき、緊張しながらもしっかり受け答えができていました。

また、委員の方から「この学校は義務教育学校で、他の学校とは違うが、よさはどこにあると思いますか?」という質問がありました。非常に難しい質問ですが、「1年生に伝えるのは難しい面もあります。だから、言葉を選びますし、アンケートをとるときは『ふりがな』をふるようにして1年生でも分かるように工夫しています。」と答えていました。

この答えを聞いたときに、子どもたちは、普段の生活の中で、これからの社会を生きていく上で必要とされる「他者への配慮」を身に付けてくれているのだと思ったところです。

また、前期課程の集団下校や、今年度の伊万里市連合 PTA の重点活動である「子どものための働き方改革」等についても意見交換を行いました。

「働き方改革」については、コミュニティ・スクールとして、様々な教育活動に地域の方々のお力添えをいただいていること、そして、本来であれば学校が行うべき連絡や調整を井手みどりさんに行っていたことは、「働き方改革」の推進につながっていることを確認しました。また、学校としても、8月20日(火)に『働き方』について考える研修会を行い、これまでの「働き方」をふりかえりながら、会議の効率化やICTの有効活用、部活動のあり方等について議論したことを報告しました。

いただいた意見を、今後の学校活動に生かしていきたいと思います。

素晴らしい環境で2学期がスタートしました(除草作業)(屋根の学校名)

育友会の活動として、8月25日(日)の7時から除草作業が行われました。

早朝からの作業とはいえ、蒸し暑い天候の中、多くの保護者の方々のお力添えをいただいて学校内外がきれいになりました。中には、夫婦で参加いただいた方もおられ、ただただ頭が下がりました。

また、旧南波多中学校前の歩道に植えられた桜の木が道路に差し掛かっていましたが、育友会会長の梅村剛様が前日の土曜日に伐採してくださいました。ありがとうございました。

それから、前田教一様からの寄附を活用させていただき、学校の屋根に「南波多郷学館」という文字を入れる作業が残っていましたが、その作業も完了しました。これは、地域の方々から、西九州道を通ると学校らしい建物はあるが、学校名がわからないというご指摘を受け、着手したものです。今では、西九州道を谷口から府招方面へ通行すると、「南波多郷学館」という学校名をはっきり確認することができます。

保護者や地域の皆様のご支援があって、2学期がスタートしました。

2学期は1年の中で一番長く、多くの教育活動が予定されています。

子どもたちにとって実り多い2学期なるよう、全職員で力を尽くしていきたいと思います。